

迎春 2019



※市長と議長の新春メッセージを動画で配信しています。市ホームページをご覧ください。

市長 野村 昌弘



始まった当初から関わらせていただいている思い出深い花壇。花を育てながら、「やさしさ」「思いやり」の心が受け継がれています。20年間変わらずに続く素晴らしい活動です。

市民生活を守り、課題解決できるよう、イノシシのように、「まっすぐに」「力をあわせて」、頑張ります。



今回初めて参加させていただき、心地よい汗を流しました。中学校のさまざまな事業に関わらせていただいているのですが、こうした、学校と地域との連携がまちを明るくしています。



議長 上田 忠博

今年は、新しい元号になる年。議会として市民の負託に応えることのできるよう、議員の力を結集して、まちのために取り組みます。



栗東中学校の花壇のように、市内小・中学校では、「地域に開かれた学校」を目指し、地域の皆さんとの交流を大切にしています。子どもたちをあたたかく見守る、たくさんのやさしいまなざしが、子どもたちの成長を支えています。



今年の干支のイノシシのように、2019年は、何事にも突き進む年に。新しい年の始まりは、今までにできなかったことに挑戦する機会。挑戦し続ける2人に話を聞きました。



新たな元号に変わる節目の年である2019年。皆さんも何かを始めるきっかけの年に見ませんか。

山川達郎さん
(37歳・下戸山)



流木アートと
ミツケーターで魅力発信

2016年6月から琵琶湖の流木を使ったアクセサリーなどを作っています。滋賀県オリジナルのものを作り、滋賀に貢献できたらと思って始めました。「Drift Wood Gear」という名前のとおり、湖岸で拾った流木に金属製の歯車をつけ、世界に一つだけの作品を作ります。最近ではレジン（樹脂）を使用して、結晶の表現を取り入れた作品も制作しています。

一昨年の「第70回滋賀県美術展覧会」では、初めて出展した作品「湖の流れる時間」が入選しました。10日間かけて制作し、琵琶湖の地形の中に今までの作品を写真で組み合わせています（写真上）。市内で作品展も開催しています。

また、栗東市のFacebook「うますぎる栗東」で、まちの魅力を発信する「りっとうミツケーター」としても活動しています。マスコットキャラクター「くりちゃん」のPRもしようと、くりちゃんが魅力を発信する形式で投稿しています。

今まで、ひらめきを楽しみながら、何にでもチャレンジしてきました。これからも、つながりを大切に、さまざまなことに挑戦していきたいです。



流木を使ったペンダント（左）とFacebook「うますぎる栗東」の投稿。偶然花に止まったミツバチも逃さずに撮影。

田所美恵子さん
(60歳・小野)



高齢者が楽しめる
「レクふら教室」を起業

高齢の母も一緒に連れていくことができる場所をつくりたいと、2018年、高齢者を対象にしたフラダンス健康教室「レクふら教室」を開きました。フラダンスを取り入れた、座ったままするレク体操を楽しむ教室です。

フラダンスや音楽活動はもともと趣味でやっており、レクリエーション指導者の資格も取得していました。教室開催に向け、2017年度生として栗東市商工会が主催する「りっとう創業塾」を受講しました。とても楽しく、受講後、4月に大津市と守山市で教室を始めました。

教室は毎月2回でデイサービスでも教えています。103歳の方もおられます。飾りをつけ、華やかなパウスカートをはくと、皆さんとてもいきいきとされます。母も同じ時間を一緒に楽しんでくれています。

孫が6人いますが、12月、還暦を記念したコンサートをさきらで開きました。家族や友達への感謝を込めた、仲間とつくりあげるステージになりました。

今年は「レクふら教室」を地元栗東で開講する予定です。これからも自分らしいチャレンジを続けていけたらと思います。



さきらでのコンサート。成人式の時の着物で、仲間とともにステージへ（左）。この日のために三味線も3か月練習。

長年のボランティア活動が地域を支え、よりよいまちをつくっています。一人の力は小さくても、みんなの力を合わせれば、大きなエネルギーになります。皆さんも仲間とともに、今年、何かを始めてみませんか。それは、まちにとって大切な活動になるかもしれません。



24年間、見守りを兼ね、高齢者に手作りのお弁当を提供

治田学区地域振興協議会の部会活動として1994年に発足しました。その後、地域の皆さんや関係者の協力をいただきつつ、現在は単独のボランティア団体として活動しています。学区内の高齢者の皆さんに手作りのお弁当を提供し、「地域の関わりを深めよう」と共助の気持ちを大切に続けています。メンバーが各家庭にお届けもしています。感想が添えられていることもあり、励みになっています。

活動は、見守りも兼ねており、家に伺った時、利用者の様子を知ることができます。以前体調の悪い人に病院での診察を促したこともありました。

年に一度利用者との交流会を開き、直接意見を伺っています。12月5日の交流会では、食事後、ピンゴゲームや歌などで親ぶくを深めました。

地域のことで役に立つことができればと続けてきました。これからも市内にこのような輪が広がっていけばと思います。

給食ボランティア「キャロット」



1994年から治田学区内の独居老人や高齢者に手作りの弁当を提供。現在は、9人のメンバーが月2回、13人の皆さんに弁当を手作りし、配達。家庭の味を大切に、カロリー、見た目、季節の食材などを考慮したメニューは利用者に好評。

2018年10月、「滋賀県社会福祉関係功労者知事表彰」を受賞。
■利用者より:「毎回、お弁当を楽しみにしています。誕生日カードをいただいたりと、細やかな気配りに感謝しています」。





24年間、淡海荘でカットとお寿司の奉仕活動

1994年、「みんなの力を合わせて地域貢献をしよう」と思いを一つに活動を始めました。

11月12日の活動には、美容・理容部門のメンバー15人と飲食部門のメンバー7人が参加。90人の皆さんを散髪し、お寿司を振る舞いました。

毎年お出会いする高齢者の方がいて、交流する時間を楽しみにしています。介護士さんの力を借りながら、声をかけ、コミュニケーションをとって散髪しています。やさしく、ゆったりとした気持ちで、「きれいになってもらいたい」の思いを込めて活動しています。

カット中、歌いだす人もいて、終わった後の気持ちよさそうな顔を拝見すると、こちらもうれしく、「やってよかった」と感じます。カットした髪の毛の掃き掃除には、他の業種の商工会員メンバーも協力してくれています。

これからも、無理のない活動を継続していきたいです。

栗東市商工会商業部会ボランティア



1994年から年2回、特別養護老人ホーム「淡海荘」でボランティア活動。7月は美容師・理容師がカット奉仕活動を実施。11月は、カットに加え、飲食に携わるメンバーがお寿司を振る舞う。

2018年11月、一般社団法人 日本善行会の「善行表彰」を受賞。

■淡海荘より：「入所者やショートステイの皆さんにとって、地域の方と交流できるとても貴重な機会になっています」。

